



アクトテノン

NO. 82

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

賞を獲った日



「クラッシュ・ワルツ」(再演)
'13年5月17日～5月19日

名古屋市青少年交流プラザ ユースクエアにて

刈馬 カオス (劇作家・演出家・刈馬演劇設計社 代表)

拙作『クラッシュ・ワルツ』が第19回劇作家協会新人戯曲賞(主催:一般社団法人日本劇作家協会 後援:公益財団法人一ツ橋総合財団)を受賞しました。

昨年12月に最終候補審査会が観客公開型で開かれたのですが、当日はなんと『クラッシュ・ワルツ』の再演公演中。思わぬバツティングに驚きましたが、座組にわがままを言って東京に向かいました。

講評では、耳の痛い指摘をたくさんいただき、天を仰いだことを覚えています。「ああ、終わったな」「明日の公演、観客動員減るかな」「送り出してくれたみんなに謝らなきゃ」そんなことを考えていたら、なぜか1回目の投票でトップに立ってしまいました。ここ最近で最もびっくりした瞬間です。2回目の投票を経て受賞が決まると、すぐに名古屋にいる妻に電話をかけました。1コールもなく「もしもし」と妻の声。「もしもし」と返します。「どうだった?」私は一息ついてから「獲った」と答えました。「獲った!」と妻が叫ぶと同時に、後ろから凄まじい歓声が聞こえました。座組のみんなが、その日の2ステージが終わったあと、疲れているのに帰らず、電話を待っていてくれたのです。喜びの爆発は数分間続きました。妻が「おめでとう!よかったねえ!」と何度も言った声を、私は生涯忘れません。

この賞は、絶対に獲りたい賞でした。名古屋では、数年前に平塚直隆さんと鹿目由紀さんがダブル受賞を果たしました。2人は私と歳が近く、飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍されています。一方、私は劇団を2つ解散し、長いスランプに苦しみました。先輩や仲間の期待を裏切る日々に、これが限界かと演劇から離れることも考えました。でも、やめなかった。本当に、諦めなくて良かった。そして、大事なものはこれから。さらにもっと良い戯曲を書き、良い舞台を作り続けていく。そのとき初めて、この賞に値する演劇人になれるような気がするのです。

今作は、交通死亡事故現場に供えられた花をめぐる物語です。着想を得たのは、我が家の近所にある交差点。そこには欠かすことなく花が供えられており、熱心な遺族だと思っていたのですが、ある時、これを供え続けているのが加害者だったら・・・と考えたのが始まりです。この場をお借りして、モデルとなった交差点で亡くなられた方の御冥福をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、これまで私に関わってくださった多くの方々に、心より感謝を申し上げます。あなたのおかげで今の私があります。本当にありがとうございました。

トピックス

「絵本と私」

坂井 文子 (千種保健所3歳児健診時おはなし会ボランティア「ふうたんぼぼ」代表)



「寺子屋アクトテノン」
～本の読み聞かせ～

絵本を読むボランティアを始めて5年が経ちます。グループ行動が多いため、仲間のメンバーたちと楽しくやっています。しかし人前で読むのは、我が子を膝にのせて読むのとは違いますので、不安になったこともありました。

図書館で本の持ち方から習いましたが、「本ばかりを見てないで、たまには聞き手に向かってニコッとわらってね。」の司書さんの声に、顔を90度動かすだけなのに、それができずコチコチに固まっていた。また、「人前で読むことに慣れるように、家族の人に聞いてもらってね。」とのアドバイスに、大人になった我が子に「お願い!」と、無理やり頼んで練習したこともありました。なんとか人前で読めるようになったのは、半年以上経った頃でしょうか。

そんな私ですが、最近ではいろいろな方の前で読ませていただくようになりました。アクトテノンでの『寺子屋アクトテノン』も、その一つです。小学生を相手に絵本を読んだのはこの時が初めてでした。他にも、高齢の方々や、さまざまな国から来日し日本語を母国語としない小学生や中

学生たちなど、楽しい機会が増えました。

一口に絵本と言っても、興味を持つ本はそれぞれに違います。どの本を読むのかでその時の成否が大きく変わってきますので、本選びはとても重要です。メンバーで相談するのももちろんですが、私たちの大きな味方は図書館の司書さんたちです。年齢層や人数、会の目的などを知らせると、「こんなのはどうかしら?」と、次々に本棚からお薦めの本を出してきてくださいます。大型絵本や紙芝居などと組み合わせますが、司書さんの力を借りた時は、自信を持って臨むことができます。

『寺子屋アクトテノン』の開催は、今年度は5・9・11・2月の予定です。1回1時間ほどで、出入りは自由です。絵本は、字数が少なくてもやさしく書かれている分、厳選された言葉が使われています。もちろん素敵な絵も描かれています。お子さま連れでなくても、ぜひ一度立ち寄ってみてください。「たまには絵本と触れ合うのもいいものだね。」と、思っていただけかもしれません。

アクテノン・シャワー

■ キャンドル演劇奨励基金の助成作品募集

キャンドル演劇奨励基金(メ〜テレ事業が平成5年に設定)が、平成26年度の助成作品を募集します。愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の舞台公演が対象です。3作品を選考して、各30万円を助成します。募集の要項は下記の通りです。

1. 対象作品：愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の県内舞台公演 3作品
2. 公演期間：平成26年10月1日～平成27年9月30日
3. 助成金額：1作品 30万円
4. 募集期間：平成26年6月30日(月)まで
5. 応募方法：所定の申込書を下記へ送付
6. 申込書の請求および送付先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ
キャンドル基金担当(TEL 03-5232-8910) 申込書ダウンロードサイトアドレスは
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

■ 定期利用の受付について

平成26年度(平成27年4月～平成28年3月)分の定期利用を次のとおり受付いたします。

- * 受付期間/平成26年7月1日～15日(月曜日は除く。)
- * 対象/演劇の練習
- * 貸出施設/大練習室1・2、及び小練習室1(いずれも4階)
- * 利用方法/利用年度を通じて、月2日以上15日以内(ただし、1週間につき3日以内、同一曜日、同一使用時間区分)、1日につき2区分以内。
- * 利用料金/平成26年9月末日までにお支払いいただきます。

アクテノン利用団体紹介

- ① 発足年 ② 団員数 ③ 主な上演作品/会場(上演年) ④ 連絡先

演劇 空宙空地



「くうちゅうくうち」と読みます。おぐりまさこのソロユニット。2013年、これまでの俳優活動や制作、宣伝美術の経験をフル活用し活動開始。2014年4月、初の単独公演「零年」では、エンターテイメント、会話劇、一人芝居、ダンス、人形劇など各界から実力派俳優を集め、本編と短編を組み合わせた舞台を企画上演。期待と後悔、焦燥、迷い、憤り。そんなことを軸に、日常に似た非日常を枠にとらわれず「おもしろい」と思ったカタチで皮肉たっぷりな舞台を目指します。

- ① 2013年 ② 1名
- ③ 『Sの字×空宙空地共同企画「空中のエス」/ナンジャール('13年)』『零年〜ディア・アルジャーノン〜/損保ジャパンひまわりホール('14年)』
- ④ おぐりまさこ
HP:<http://www.coochuhcoochi.com>
E-mail:ogu1969_maco@me.com

アクテノンに一言 芝居を始めてからこれまで、気づけば十数年お世話になってます。いつもきれいで落ち着いた稽古できる素敵な空間。深夜までの延長OK、とてもありがたいです！これからもよろしくをお願いします。

演劇 劇薬★笑々症候群



私たち、劇薬★笑々症候群(通称=笑々)は、笑顔が大好きです。泣いても怒っても最後には、私たちに会って下さったみなさまに一つでも多くの笑顔を差し上げたい！そして何より、私たちが笑顔でいたい！
そんな想いで旗をあげた、劇薬★笑々症候群(げきやく★わらわら症候群)、『笑々の劇』が、辛さを笑顔に変える『薬(激薬)』となって、みなさまが笑いの『中毒(症候群)』となり、笑々を求めて頂ける様な、そんな劇が出来たらと、笑いの中毒になれるように日々奮闘しております。

- ① 2010年 ② 2名
- ③ 『地球の歯車(ほしのルアーージュ)』/名古屋市青少年交流プラザ('12年)、『ドロップ』/名古屋市青少年交流プラザ('13年)、『永遠の詩(とわのうた)』/名古屋市青少年交流プラザ('14年)』
- ④ めぐみ
HP:<http://wara2syndrome.web.fc2.com/>
E-mail:gekiyaku_wara2syndrome@yahoo.co.jp

アクテノンに一言 いつも大変お世話になっております。広い稽古場で、舞台の幅が取りやすく、とても快適に稽古をさせて頂いております。様々な方とも出会えるので、交流の場としても楽しく使わせて頂いております。

公演のご案内

- ★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ① 会場 ② 日時 ③ 料金 ④ 問合せ先

劇団粋んぐHi`gh 番外公演act.1 『 TWO 』	<ul style="list-style-type: none"> ① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア ② 6月7日(土) 14:00 18:30、8日(日) 13:00 16:00 ③ 予約・当日1,000円(公演協力費) ④ ☎090-6578-9748 (黒猫まさきゅん) gekidan_swinghigh@yahoo.co.jp 不思議な力を持つ青年トオルの物語。初番外・初演出で御見せします。
楽演SUDAKU5.5 『 夜の学校 』	<ul style="list-style-type: none"> ① ナンジャール ② 6月28日(土) 15:00 19:00、29日(日) 11:00 16:00 ③ 前売・予約1,000円(当日1,200円) ④ rakuensudaku5.5@gmail.com ☎052-414-7257 女教師が手紙で呼ばれ訪れたのは、見知らぬ港町。霧が包んだその場所の秘密とはー。
アクションクラブ 新人公演DayBreakIV 『 よろしく!!青春!! 』	<ul style="list-style-type: none"> ① 名古屋市北文化小劇場 ② 7月10日(木) 19:00、11日(金) 14:00 19:00、12日(土) 11:00 15:00 ③ 前売2,500円(当日3,000円) 中高生1,500円(当日2,000円) 中高生未満1,000円 ④ ☎080-9113-7107 (製作担当) 『青春・青春・青春!! バカ・バカ・バカばっか!!』 お見逃しなく! どうぞヨロシク青春
劇団Hi-T Growth 第15走 『 あったかい午後だから 』	<ul style="list-style-type: none"> ① ナピロフト ② 7月12日(土) 15:00 19:00、13日(日) 11:00 15:00 ③ 前売1,800円(当日2,000円) ペア3,000円(要予約) ④ ☎080-9496-8110 (劇団) 「1日に1個忘れます」、ある日突然宇宙人から告げられた青年の一週間



編集発行/平成26年5月25日(年4回)

名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

